



3-005VLA-00-02
日本ペイント株式会社
製品使用説明書

ニッペ クリンカラーWエース つや有
水性高硬度アクリル樹脂防塵床用塗料

- 規格表示
- 特長
- 塗料性状

JIS K5970 建物用床塗料 上塗り 相当*

* 該当規格の性能を満たしています。(社内試験)

- 水性なので取り扱い易く、臭気が少なく、作業性も良好です。
- 従来の水性塗料と比べ塗膜が硬く耐磨耗性・耐久性に優れます。
- 従来の水性塗料と比べ塗膜硬度が高いので車のタイヤ跡が付き難い。
- アスファルトにも適しています。

色		各色				
密度(g/cm ³)(23℃)		1.13 (色相により異なります。)				
光沢		つや有り				
引火点		-				
発火点		240 (参考値)				
消防法表示	化学名	-				
	危険物区分	-				
	危険物等級	- (-)				
有機溶剤区分		なし				
毒劇物表示		-				
有害物表示		-				
ホルムアルデヒド放散等級	登録(認証)番号	-				
	区分表示	F				
問合せ先		N02377				
国連/指針番号		2810/153				
環境性能	ケルシン	配合せず	ホルムアルデヒド	配合せず	トルエン	配合せず
	キシレン	配合せず	パラジクロロベンゼン	配合せず	エチルベンゼン	配合せず
	スチレン(モノマー)	配合せず	フタル酸ジ-n-ブチル	配合せず	テトラカ	配合せず
	フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	配合せず	ジアジノ	配合せず	アセトアルデヒド	配合せず
フェノール		配合せず	鉛	配合せず		
T V O C		13.1%				
商品ラインナップ		CB1ダークグリーン、CB2グリーン、CB3フレッシュグリーン、CB4ホワイトグリーン、CB5ライトブルー、CB6レッドブラッシュ、CB7ブラック、CB8ペーブル、CB9グレー、CB10ライトグレー、CB15ライトグリーン、CB23アイボリー、ライン用ホワイト、ライン用EQ-				

・塗料性状に記載の数値は、全て代表的な色相、つやを想定しています。

- 塗装基準
- 希釈剤
- 塗装方法

15kg、3.5kg
水道水

塗装方法	中毛ローラー塗り
希釈率	0~5%
使用量	0.15~0.19kg/m ² /回

- 上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。
- 上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。
- 防滑仕上については防滑仕上塗装仕様書をご参照ください。

乾燥時間：

	5~10	23	30
指触乾燥	-	-	-
塗り重ね乾燥	6時間以上	4時間以上	2時間以上

・乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

□ 注 意 事 項

- ・使用量は、塗料のみについての記載です。塗料の中に珪砂やウレタンチップを混合して防滑仕上げる場合に、混合する珪砂ウレタンチップの使用量は含まれていません。
- ・塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- ・ワックスを使用している床面は付着阻害を起こしますので、ワックス用はく離剤などで除去し水洗いを十分に行い十分に乾燥後、塗装してください。
- ・施工後、車両のタイヤ、ゴム長靴やコード類など可塑性剤を含むものを置くと軟化し粘着性が生じますので、置かないでください。
- ・厚く塗り過ぎると乾燥が遅れたり、ひび割れが入ったりしますので、厚付けに注意してください。
- ・旧塗膜が何回も塗り重ねられて積層されている場合、塗膜全体が柔らかくなっている場合があります。この場合、そのまま塗り重ねると塗膜の物性差によって塗膜割れが発生するおそれがありますので、旧塗膜をはく離してから塗装してください。
- ・歩行は塗装翌日から可能ですが(23℃)、車両の走行は塗装後72時間が経過した後にしてください。早期の使用は、塗膜がはがれたり、靴跡、タイヤ跡などの不具合が生じます。
- ・舗装して間もないアスファルト面の場合は、油分が表面に染み出てこなくなるまで(目安は舗装後およそ3週間程度)、塗装を避けてください。
- ・旧塗膜がエポキシ系、ウレタン系の場合は、ポリシャー・サンダーで表面を目粗ししてください。
- ・強化コンクリート、カラーコンクリート、フェロコン、ち密に仕上がった一般コンクリート・モルタル面へ施工の際は付着性向上のため、研削機を用いて下地表面を物理的に目粗ししてください。または、研磨紙(#40-80)で表面を目粗した上で、専用のプライマー(クリンカラーパワフルプライマーに強化C添加液を加えたもの、またはクリンカラーWエポ速乾プライマー)をご利用ください。
- ・常時、水が溜まる箇所は傾斜をとり、排水溝を設けるなどして、排水処理を行ってください。
- ・常時水がかかる可能性がある場所、または下から(塗膜の裏面から)水分が廻る可能性がある場所には、ニッペクリンカラーEレジモルクリヤー(新)を使用した塗装仕様で塗装してください。
- ・下地表面の油脂や汚れは溶剤などで十分に除去してください。
- ・下地コンクリート表面のレイタンス、エフロレッセンスなどの粉化物、ぜい弱部は十分に除去してください。ひび割れ、巣穴、不陸などがある場合や、旧塗膜にはがれがある場合には、あらかじめエポキシ樹脂パテなどを充填するなど、段差修正や部分補修などを行い、平滑な面にしてから塗装を行ってください。
- ・塗り替え時で、旧塗膜が弾性の場合は使用しないでください。
- ・旧塗膜の種類が不明の場合には必ず試験施工で適性を確認してください。
- ・塗り替えの際、旧塗膜の劣化状況や付着状況、または使用環境などによりシーラーレスタイプの塗料でもプライマーが必要な場合があります。
- ・シンダーコンクリート面に塗装する場合は、プライマーを数回(2~3回)塗装し、素材表面の強度を向上させてから上塗りを塗装してください。
- ・塗料の中に珪砂を混合して防滑仕上げる場合は珪砂は沈殿しやすいので、かき混ぜながら塗装してください。
- ・クリンカラー防滑骨材を配合した塗料はすみやかに使いきってください。長時間放置されますと骨材が沈殿もしくは浮いてきます。ご使用の際は、必ず使用量にあわせて調合し、使い切りとしてください。
- ・施工に関しての詳細な注意事項はクリンカラー施工マニュアルをご参照ください。
- ・塗装後、乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
- ・色相によっては降雨、結露によってぬれ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。
- ・反応硬化タイプの塗料のため、使用後のはけなどはできるだけ早く水で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにラッカーシンナーで洗浄してください。
- ・旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- ・素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケット科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケット科学社製Hi500シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
- ・表面のごみ、ほこり、エフロレッセンス、レイタンスなどは除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
- 本書類の内容については、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本書類中の製品名・会社名は、日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- Copyright (c) 2014 Nippon Paint Co., Ltd. All rights reserved. この書類に対する加筆、修正はご遠慮ください。